

## 要旨

メイラサリ、レティ。2012。漫画『名探偵コナン』第 65 巻における命令文の発話行為。ブラウイジャヤ大学日本語学科。

指導教官：(I) アグスブディチャフヨノ (II) イスニンアイニー

キーワード：発話行為、発話行為の機能、命令文

コミュニケーションで大切なことはスピーカー、聞き手、言語である。スピーカーは聞き手に言語の象徴を渡す。文というのは状況と意図が異なるので、発話行為の機能も異なる。文には他の機能もある。直接的な命令文は命令する意図ではなくて、それから意図とコンテキストの文に理解できる。本研究の問題は (1) 漫画『名探偵コナン』第 65 巻における発話行為の機能は何か、(2) 漫画『名探偵コナン』第 65 巻における命令文の種類は何か、である。

研究には定性的で記述的な研究を使う。発話行為の機能と直接的な命令文の種類を詳しく説明するためである。見つけたデータは 89 あった。

研究の結果としては、漫画『名探偵コナン』第 65 巻においては、レチエスによる発話行為の機能は (1) 競争力：命令する、求める、要求する、要求する、(2) 楽しい：勧める、誘う、(3) 協力：広告する、教える、(4) 反対：脅す、叱る、である。そして、牧野と筒居による直接的な命令文の種類は (a) 命令：厳しい命令、命令、微妙な命令、(b) 禁止：厳しい禁止、(c) 依頼：丁寧な依頼、依頼、(d) 勧誘、である。

次の研究としては、(1) 間接的な命令文、(2) 他の参考資料で、(3) 他のデータソースで、命令文を研究することが考えられる。